

北陸支部報

2017/8/10
第 9 号



昨年実施された「とやまみんなの地図作品展」

目 次

平成29年度北陸支部業務報告会	2
平成29年度 北陸支部役員名簿	3
公共測量品質管理優秀賞1社を表彰	5
平成29年度北陸支部空間情報技術事例発表会開催	5
着任挨拶（国土地理院北陸地方測量部長）	10
平成29年度北陸支部事業計画	11
平成28年度講習会総括表	13
行事等の報告	14
会員の増減状況	15



公益社団法人
日本測量協会

北陸支部

平成２８年度 北陸支部業務報告会

北陸支部では、６月２６日（月）に福井市の「福井県中小企業産業大学校」特別教室において、平成２９年度北陸支部業務報告会を開催しました。

この報告会は、平成２６年度から会員の皆様が業務報告会に参加しやすい環境を整備するためにより近い場所で開催することにしております。新潟県、富山県、石川県、福井県と順次開催を行っており、今回の福井県での開催で４番目の開催となります。これで、各県を一巡したことになります。鹿田支部長が体調不良のために今業務報告会に出席出来なかったことから、若林副支部長が鹿田支部長の挨拶を代読しました。

続いて本部の第６７回定時総会で新しく日本測量協会理事に就任した飯村理事から、本部挨拶と現状報告があり、６月２２日に本部で行われた定期総会で行われた、日本測量協会の役員選定報告、平成２８年度の事業報告の要旨及び

平成２９年度の事業計画の要旨の説明がありました。また、正会員が増えている最近の動向や検定業務を一体化して事業を実施するために測量技術センターと筑波事務所が筑波に出来る新ビルの紹介がされました。

この後、事務局から平成２８年度支部事業報告の要旨及び平成２９年度の事業計画の要旨及び収支状況と予算について説明と報告を行いました。

続いて、平成２７年末に北陸支部管内の特別会員を対象とした「測量ＣＰＤに関するアンケート調査の結果について」報告を行いました。「測量ＣＰＤ」と「ＳＵＣＣＥＳＳ」の広報、「ＳＵＣＣＥＳＳ」に関する意識調査などが報告されました。また、講習に関する要望の意見も紹介されました。

今後の検討事項として、会員への広報を通じて測量ＣＰＤ登録者の拡大、支部行事、講習会のＰＲ強化、会員サービスの充実などが上げられました。



平成 2 9 年 度 北 陸 支 部 役 員 名 簿

支 部 長	鹿 田 正 昭	金沢工業大学	副学長
副 支 部 長	新 家 久 司	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 国土開発センター	会 長 代表取締役社長
〃	若 林 喜 久 男	(一社) 福井県測量設計業協会 (株) サンワコン	会 長 代表取締役社長
幹 事 長	山 岸 陽 一	(一社) 新潟県測量設計業協会 (株) 山岸測量事務所	会 長 代表取締役
幹 事	荒 井 隆 二	(一社) 新潟県測量設計業協会 荒井測量設計(株)	副会長 代表取締役
〃	吉 澤 隆	(一社) 新潟県測量設計業協会 (株) 長 測	副会長 代表取締役社長
〃	佐 治 力	(一社) 新潟県測量設計業協会 新潟県上越国土測量(株)	副会長 代表取締役社長
〃	榮 知 之	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 北陸コンサルタント	会 長 代表取締役
〃	鷺 北 慎 一	(一社) 富山県測量設計業協会 北建コンサル(株)	副会長 代表取締役社長
〃	市 森 友 明	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 新日本コンサルタント	副会長 代表取締役社長
〃	磯 野 秀 和	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 北日本ジオグラフィ	副会長 代表取締役社長
〃	黒 木 康 生	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 日本海コンサルタント	専務理事 代表取締役社長
〃	高 岡 昌 和	(一社) 福井県測量設計業協会 丸一調査設計(株)	副会長 代表取締役
〃	中 西 誠 一 郎	(一社) 福井県測量設計業協会 (株) 帝国コンサルタント	専務理事 代表取締役社長

支部長挨拶（業務報告会）

鹿 田 正 昭

本日は公益社団法人日本測量協会北陸支部平成29年度業務報告会にご多忙のところご出席をいただきありがとうございました。また、協会本部からは先の第67回定時総会で新しく理事に選任されました測量技術センター長の飯村友三郎様にご出席をいただきました。ありがとうございます。

本日は所要により、業務報告会開始時刻には間に合わず、空間情報技術事例発表会から参加いたしますので、ご了承ください。

当協会が平成25年に公益社団法人への移行以降、本日まで支部役員および会員の皆様方にはいろいろとご支援およびご協力をいただいていますことに深く感謝申し上げます。

さて、平成29年度当協会の事業計画を要約しますと、第一に、ホームページの充実、各種出版物の刊行、測量・地理空間情報イノベーション大会の実施、G空間エキスポ運営への積極的な支援。

第二に、空間情報総括監理技術者資格制度、地理空間情報専門技術認定制度の充実を図るとともに、サーベアカデミー等の講習会を積極的に推進し、測量及び地理空間情報の普及発達と専門技術者の社会的地位向上、ならびに測量系CPDの普及に努める。

第三に、測量業務の環境変化と顧客ニーズに的確に対応しつつ、測量機器の検定、測量成果の品質保証を確保し、測量・地理空間情報コンサルタント業務に関する調査研究を推進。

第四に、測量技術センター（板橋区）とつくば事務所（つくば市）の統合・一体化のための「つくば新ビル」の6月着工。
などが述べられています。

一方、北陸支部では平成26年度から北陸支部会員の若手技術者が携わった業務内容を発表できる機会である「北陸支部 空間情報技術事例発表会」を開催し、最優秀賞の論文は本部の査読付きの空間情報事例報告集に投稿していただいています。今年は福井県内企業を中心に6件のご発表をいただくことになっており、支部管内の各県を一巡したことになります。

本日の事業報告会の報告事項につきましては、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。最後になりますが、ご出席の皆様方のご健勝とご活躍を祈念して開会のご挨拶とします。本日はご出席ありがとうございました。

（若林喜久男副支部長代読）

公共測量品質管理優秀賞 1 社を表彰

日本測量協会は、平成 28 年度に実施した公共測量成果（基準点測量、地図作成）の検定において、品質（品質管理）が特に優れていたと認められる作業機関（測量会社）30 社を 6 月 22 日発表しました。

「品質管理優秀賞」の表彰制度は、平成 17 年 4 月「公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）」の施行を機に、測量成果の品質確保および測量会社の技術力向上につながることを期待し、当協会が創設したもので、今年が 13 回目となります。

測量成果の検定については、国や地方公共団体等が発注する公共測量は、「公共測量作業規程の準則」の中で「高精度を要する測量成果又は利用度の高い測量成果で、計画機関が指定したものについては、検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けなければなら



飯島理事、優秀賞受賞者の方、益子センター長

ない。」と規定されています。これにより、公共測量として実施される大部分の測量作業の測量成果が検定の対象となります。

今年、北陸地区では、基準点測量部門において株式会社サンワコン（福井市）様が優秀賞を受賞されました。5 回目の受賞になります。

表彰は、6 月 26 日の北陸支部業務報告会に引き続いて授賞式を行い、飯村理事から記念の楯と副賞が手渡されました。

平成 29 年度 北陸支部空間情報技術事例発表会開催

今年で 4 回目となる、平成 29 年度公益社団法人日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会は、福井市の「福井県中小企業産業大学校」特別教室において、業務報告会に引き続いて出席者約 70 名の中で行われました。今年は会場をやや小さめの部屋としたため、想定を超える参加の申込があり、参加をお断りするほどとなりました。年々この発表会に対する関心が高まって来たように感じます。

冒頭、鹿田支部長の挨拶を北陸支部の名取が代読し、優秀賞を受賞された方には、本部が扱う空間情報技術事例報告集への投稿をオブリケーション（義務）としたい、と挨拶があり、その後 6 名の発表者から、自身が体験した測量作業等に

ついて発表していただきました。各自発表時間 15 分、質疑応答 5 分という制約の中で、発表時間の余った人、制限時間を越えた人もおりましたが、発表のまとめ方や質問対策等大変苦労されたことと思います。

全ての発表が終了した後、審査員以外の皆さんは懇談会場へ移動して、審査結果が出るまでの間、和やかに歓談され、審査結果を今か今かと心待ちにしていました。審査員の皆さんは、そのまま得点集計に入り、入賞者の選考を確認しました。

今回の審査は、これまでと同様に、①発表の着眼性、②まとめ具合、③発表資料の分かり易さ、④質疑応答に対する的確性、⑤時間の適正・話し方・態度の

審査の終了後、審査員も懇談会の歓談に加わり、暫くした後、福井県測量設計業協会若林会長の開会の挨拶に始まり、国土地理院北陸地方測量部岡庭部長から来賓の挨拶がありました。次に、審査員長の飯村理事から成績発表が行われ、最優秀賞に株式会社サンワコンの山岸鑑頌さん、優秀賞に株式会社帝国コンサルタントの森下徳雄さんが選ばれ、両名に賞状と記念品が贈呈されました。続いて審査員の金沢工業

最後は、日本測量協会飯村理事の中締めで、この日予定されていた全ての行事を盛況裏に終了しました。

来年は新潟県で2回目の開催を予定しておりますので、積極的な応募があることを期待しております。

田中政弘

◎審査員

- 審査員長 鹿田正昭（北陸支部長・金沢工業大学副学長）
- 審査員 岡庭直久（国土地理院北陸地方測量部長）
山本一浩（近畿地方整備局 福井河川国道事務所 河川管理第一課長）
長谷川義則（福井県土木部土木管理課参事）
徳永光晴（金沢工業大学環境・建築学部教授）
飯塚友三郎（日本測量協会理事）

支部長挨拶（空間情報技術事例発表会）

鹿 田 正 昭

本日は日本測量協会北陸支部平成29年度空間情報技術事例発表会にご多忙のところご出席をいただきありがとうございます。

この空間情報技術事例発表会は、当協会が平成26年に公益社団法人に移行し、支部総会が業務報告会に変更になったことを機に、支部活動の活性化および若い技術者の方々の発表の機会と技術の研鑽、本部が主催する空間情報技術事例報告集への投稿を促すことを目的として各県での持ち回りで開始し、今年が4年目となり一巡したことになります。

発表会の開催にあたっては、支部役員、事務局および福井県測量設計業協会の方々には大変ご尽力をいただきました。高いところからであります。衷心より感謝申し上げます。本日はこの趣旨に賛同して福井県から6名の会員にご発表をいただくことになりました。この4年間で新潟7人、富山6人、石川6人、福井6人の計25人となりました。発表者の方々にはそのご努力に深く敬意を表します。次年度はまた新潟県に戻りまして、さらに質も量も一巡目をしのいだ発表会にしていきたいと思います。と念じています。

また、本日は国土地理院北陸地方測量部長の岡庭直久様、近畿地方整備局福井河川国道事務所河川管理第一課長の山本一浩様、福井県土木部土木管理課参事の長谷川義則様、金沢工業大学環境・建築学部教授徳永光晴様、および日本測量協会理事の飯村友三郎様には、ご多忙のところ審査委員としてご参加いただきました。誠にありがとうございます。公平な審査をお願いしたいと存じます。

審査結果につきましては、発表会終了後の懇談会の席上で、最優秀賞1件および優秀賞1件を発表する予定です。

なお、最優秀賞および優秀賞に選ばれた方には、本部が主催する空間情報技術事例報告集への投稿を義務としております。

昨年度の入賞者2名もすでに投稿されたと聞いています。

また、一昨年より本部の空間情報技術事例報告集に投稿しやすいように、レジメを提出していただくようにしました。選に漏れた方々も自己研鑽のために積極的に投稿していただくことをお願いし、空間情報技術事例発表会開会のご挨拶とさせていただきます。 それでは活発な質疑応答をお願いいたします。

本日はご出席ありがとうございます。

写真集



表彰される優秀賞受賞者の（株）サンワコン様



空間情報技術事例発表会の会場の様子



発表の様子



空間情報技術発表会の表彰式

着任のご挨拶



国土地理院北陸地方測量部長 岡庭 直久

本年４月に国土地理院北陸地方測量部へ着任しました岡庭でございます。よろしくお願いいたします。

公益社団法人日本測量協会北陸支部ならびに会員の皆様方には、平素より国土地理院の測量業務や測量行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国土地理院が長年取り組んでいる測量、地図づくりを通じた「国土を測る」「国土を描く」「国土を守る」という仕事は、日々変貌する日本の国土を適切に管理し、活用することであり、国民の安全・安心の確保や社会経済活動に必要なものとなっています。また、インターネットやスマートフォンなどの普及により、位置を伴った地理空間情報が高度に活用される社会の実現を目指した取組も重要となっています。

国土の位置・姿・形を正確に知るための「国土を測る」ということは、全ての建設プロセスの最上流にあり、社会資本整備をはじめ国民の経済活動や生活においては、その品質・精度・信頼度の維持・向上などが重要なものとなっており、国土管理の原点であると言えます。

また、地形、土地利用、道路などの地理空間情報を地図化して「国土を描く」とともに、紙面、Web、数値データなど様々な媒体で迅速に提供することによって、国民生活の利便性や産業活動の生産性を高めることが可能となります。

「国土を守る」とは、頻発する災害から国土と国民の生命・財産を守るため、測量・地図分野の最新技術を活かした防災・減災に関する取組を推進し、災害時には空中写真撮影や緊急測量などによって、被災状況の把握や応急活動に必要な情報を集め、速やかに提供することにより、政府機関や地方公共団体等がおこなう復旧・復興に役立てられています。

北陸地方測量部としましても、測量法及び地理空間情報活用推進基本法を軸に、業界、学界、国・地方公共団体と連携しながら測量行政機関として、この「国土を測る、描く、守る」という役割を果たして参りたいと考えております。

会員の皆様方には、今後とも国土地理院が実施します測量行政にご理解いただき、また、「測量の日」関連行事や「とやまみんなの地図作品展」などにお力をお借りすることになりますが何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、公益社団法人日本測量協会北陸支部の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、着任のご挨拶とさせていただきます。

平成２９年度 北陸支部事業計画

１．行事等実施計画

行 事 名 等	内 容	時 期	場 所
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（長岡会場）	４月	長岡市
北陸支部役員会	年２回の定例会議	５月 １２月	富山市
公共測量品質管理優秀賞表彰	測量成果の品質確保及び測量会社の技術力向上	６月	福井市
北陸支部業務報告会	会員に対する北陸支部業務説明 年１回の定例報告会	６月	福井市
（公社）日本測量協会北陸支部 空間情報技術事例発表会	空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報の共有化を図る	６月	福井市
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（富山会場）	３月	富山市

２．支部主催講習会計画

講 習 会 名	開催予定	会 場
測量・地図の基礎講座 測量数学・誤差学の基礎（Ｗｅｂ）	４月７日	富山市（測量会館）
路線測量・用地測量	４月１３日	新潟市（新潟テルサ）
初めての簡易型技術提案書作成	５月１８日～１９日	長岡市（パストラル長岡）
ＴＳによる３，４級基準点測量及び水準測量	５月２５日	金沢市（石川県地場産業振興センター）
第３回測量・地理空間情報イノベーション大会（Ｗｅｂ中継）	６月２７日～２８日	富山市（測量会館）
ＵＡＶを用いた三次元計測とその利活用（基礎編）	７月２０日～２１日	聖籠町（聖籠町町民会館）
測量・地図の基礎講座 ハザードマップの作成の基礎（Ｗｅｂ）	７月２７日	富山市（測量会館）
測量・地図の基礎講座 洪水ハザードマップの作成の基礎（Ｗｅｂ）	７月２８日	富山市（測量会館）
ＧＮＳＳによる基準点測量	８月２３日	金沢市（石川県地場産業振興センター）
実務者のためのＵＡＶ利活用セミナー（ビデオ講習）＜会員無料＞	８月２９日	富山市（市町村会館）

ネットワーク型RTK法による基準点測量	9月 7日	上越市（上越市民プラザ）
電子基準点のみを既知点とする基準点測量 及びGNSS水準測量	9月12日	富山市（市町村会館）
公共測量成果のまとめ方	9月27日	福井市（国際交流会館）
人事・管理系部門担当者向け測量CPD活用 のためのセミナー＜会員無料＞	10月6日	富山市（教育文化会館）
地理空間情報技術セミナー＜会員無料＞	10月6日	富山市（教育文化会館）
総合評価方式時代の測量技術者スキルアップ・セミナー＜会員無料＞	11月7日	福井市（国際交流会館）
測量士答案練習セミナー（Web）	3月 5日～9日	新潟市（技術士センタービル）
測量士補答案練習セミナー（Web）	3月13日～16日	新潟市（技術士センタービル）

参考：本部主催

講 習 会 名	開催予定日	会 場
河川測量設計（Ⅰコース）W e b	4月17日～21日	富山市（測量会館）
基準点測量B課程（基準点測量コース）実習なし	6月15日～21日	長岡市（ハイブ長岡）
河川測量設計（Ⅱ）W e b	7月10日～14日	富山市（測量会館）
G I S B課程（Ⅱコース）（W e b）	7月31日～8月5日	富山市（測量会館）

3. 会員サービス

- ① 基準点測量成果謄抄本交付申請代行事務
- ② 正会員に対する測量CPD登録代行事務（無料）
- ③ 特別会員に対する測量CPD学習履歴登録代行事務（有料）
- ④ 北陸支部報のウェブサイト刊行 年2回（7月及び1月）
- ⑤ メールマガジン「北陸支部通信」の配信 原則月1回
- ⑥ 当協会のウェブサイト「支部からのお知らせ」を活用し支部の情報提供を図る

平成28年度 講習会総括表（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

開催日	講 習 会 名	講 師	開 催 場 所	受講者
6月16日	TSによる3, 4級基準点測量及び水準測量	森 康祐	富山市（市町村会館）	4名
7月7日	路線測量・用地測量	福島和好	福井市（地域交流プラザ）	15名
7月23日	測量成果の取りまとめ	益子 栄	新潟市（新潟テルサ）	29名
8月6日	ネットワーク型RTK法による基準点測量	白井康友	金沢市（石川県地場産業振興センター）	18名
8月7日	GNSS水準測量	同上	同上	22名
9月1日 ～2日	デジタルカメラを使った写真測量（野外・応用編）	村井俊治 大谷仁志	新潟市（新潟県民会館）	20名
9月15日	ネットワーク型RTK法による公共測量（実習有）	益子 栄	長岡市（ハイブ長岡）	30名
9月16日	地理空間情報技術セミナー＜会員無料＞	住田、高橋、益子	長岡市（ハイブ長岡）	37名
	総合評価方式時代の測量技術者スキルアップ・セミナー＜会員無料＞	瀬戸島、池田、白井	金沢市（石川県地場産業振興センター）	43名
3月7日 ～11日	測量士答案練習セミナー（W e b）	柴田、高橋、福島、吉成、植竹、山本	富山市（測量会館）	7名
3月22日 ～25日	測量士補答案練習セミナー（W e b）	柴田、高橋、福島、吉成、植竹、山本	富山市（測量会館）	中止

開催日	講習会名	講師	開催場所	受講者
4月17日 ～23日	基準点測量B課程(基準点測量コース)実習なし	柴田義冬	金沢市(石川県地場産業振興センター)	16名
5月25日 ～29日	用地測量設計(I)web	——	富山市(測量会館)	中止
7月13日 ～17日	用地測量設計(II)Web	——	富山市(測量会館)	中止

行事等の報告

○支部役員会

役員会において、6月26日の「北陸支部業務報告会」、「空間情報技術事例発表会」及び「懇談会」について、それぞれの内容を役員に説明し、意見を伺いました。

事務局から北陸支部業務報告会の内容及び空間情報技術事例発表会と懇談

会の流れについて、説明を行いました。

また、平成29年度北陸支部役員について、退任者及び新たに選任する役員の確認を行いました。

○「とやま地図作品研究会」総会を開催

第8回とやま地図作品研究会総会が、5月23日(火)に測量会館で開催しました。

スケジュールは、6月に県内小中学校に募集案内とチラシを配布し、9月の一ヶ月間作品を募集し、10月に一次審査、本審査会を開催して入賞作品を決定します。11月19日～20日にファボー

レで入賞作品の展示会を開催し、表彰式は展示会の初日(19日)に同会場で行うことにしています。

また、今年も最優秀作品を国土交通大臣賞・文部科学大臣賞候補作品に推せんし、その他優秀作品については、全国児童生徒地図優秀作品展に出展することになっています。

○「測量・地理空間情報イノベーション大会」を2日間にわたりWeb中継

日本測量協会が主催する「測量・地理空間情報イノベーション大会 第3回」について北陸支部では、6月27日(火)及び28日(水)の2日間に

わたり、東京大学伊藤国際学術研究センターで行われた講演の様相をWeb中継しました。今年はネットでの申込を行い、両日とも20名前後の聴講が

ありました。最新技術や準天頂衛星システム公共測量マニュアルなど、普段なかなか聴くことができない演題に、大変有意義に感じられたことと思います。また、2日目には当支部の鹿田支

部長が「産学連携における大学の役割と地域企業の活性化」の講演を行いました。

○「総合評価方式時代の測量技術者スキルアップ・セミナー」開催

平成29年3月3日（木）金沢市の「石川県地場産業振興センター」において、『総合評価方式時代の測量技術者スキルアップ・セミナー』を開催しました。

このセミナーは、当初、平成28年度計画には入っておりませんでした。当協会が、昨今の測量技術者の多岐に亘るスキルが求められている現状を鑑み、会員の皆様にお役に立てられるようにと開催したものであります。総合

評価方式時代への対応、技術資格の取得方法、測量CPDと取得方法、提案要請書の読み方・分析、新技術紹介と技術情報収集の方法などについて講義が行われました。

主に石川県、富山県、福井県からの参加者でしたが、遠く兵庫県からも参加があり、43名の参加者となりました。

○「路線測量・用地測量」講習会開催

平成29年4月13日（火）新潟市の「新潟テルサ」において、『路線測量・用地測量』講習会を開催しました。

年度初めの発注前の時期とあってか、

全て新潟県内の会社から42名の参加がありました。

○「T Sによる3、4級基準点測量及び水準測量」講習会開催

平成28年5月24日（火）金沢市の「地場産業センター」において、『T Sによる3、4級基準点測量及び水準測量』技術講習会を12名の参加者により開催しました。

平成27年度 会員の増減状況

会員種別	H28.6.31 現在	H29.6.31 現在	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正会員	537	554	+17	274 (+4)	112 (-1)	108 (+15)	60 (-1)
準会員	1	2	+1	2 (+2)	0 (-1)	0 (±0)	0 (±0)
特別会員	180	178	-2	83 (±0)	41 (-2)	35 (±0)	19 (±0)
計	718	734	+16	359 (+6)	153 (-4)	143 (+15)	79 (-1)

**測量CPD及び技術者継続教育証明制度(SUCCESS)の
登録、更新を行いましょう。**

日本測量協会の正会員が、16年ぶりに10,000人を突破しました。また、測量CPDの登録者もとうとう20,000人を越えました。

北陸支部においても正会員は、増加しており平成29年6月末で554名に達しています。



